

誰でも使える AEDで人命救助

本市では、公共施設に加え、市内のコンビニエンスストアに AED が設置され、より身近な存在となりました。いざというときに備え、AED が設置されている場所や操作方法などを知っておきましょう。

図 712-8641 保健医療課

AEDとは

倒れている人に対して、自動的に心臓の状態を判断（心電図の測定・解析）し、必要に応じて電気ショックを与え、心臓を正常なリズムに戻すための機械です。

市内110店舗のコンビニと 小中学校などの屋外にAEDを設置

コンビニの営業中であれば、いつでも利用できます。また、公共施設 190カ所にも設置されており、7月以降、学校など65カ所の AED が屋外に移設され、夜間や休日でも利用できるようになります。

詳細な設置場所は、右記2次元コードで確認してください。



AEDを取り出す時、ふたを開けると大きな音が鳴ります



▲コンビニの AED



▲AED設置店舗の目印

私が働く店舗にも
あります



▲学校の AED

AED がつないだ命

AEDを使って命を救われた方、救った方に、体験談を伺いました。

AEDがあって本当に良かったと思います。ペースメーカーを入れることにはなったのですが、それ以外は後遺症もなく、今は日常生活に支障はありません。Oさんには、感謝しかないです。



▲救われたIさん

スポーツ
ジムで



▲救助者Oさん

AEDを訓練以外で使うのは初めてだったので最初は抵抗がありました。が、ふたを開けるとゆっくり指示してくれるので、分かりやすく、落ち着いて処置することができました。近くに AED があり、Iさんを助けることができて本当に良かったです。

病院で医師から、電気ショックや心臓マッサージがなかったら蘇生は難しかったかもしれないと伺って、職場の仲間には感謝してもしきれないです。みんなが勇気を出して対応してくれたおかげで、今もこうして笑って過ごせています。



▲救われた中山先生

幼稚園で



▲救助者小沢先生

中山先生が倒れた時、心肺蘇生をする人、救急車を呼ぶ人、AEDを持ってくる人とすぐに分担し、協力して対応できたことが良かったと思います。今も子どもたちと一緒に遊んでいる姿を見ることができて本当にうれしいです。

倒れている人を発見したら 3つのステップで落ち着いて対応を

命が助かる可能性は心肺停止後から時間の経過とともに低くなります。その場に居合わせた人がすぐに心肺蘇生法を行い、AEDを使用することが重要です。

図 333-2111 救急課（音声ガイダンス2番）

1 119番通報とAEDの手配

倒れている人を発見したら、周囲の安全を確保し、意識（反応）がなければ、周囲に119番通報と AED の手配を依頼

2 呼吸の確認・胸骨圧迫

呼吸を確認し普段どおりの呼吸（胸とおなかの上下運動している状態）がない場合はすぐに胸骨圧迫を開始

感染予防のため、口を布で覆う



ポイントは
「強く・速く・絶え間なく」

【胸骨圧迫の方法（成人）】

- ① 胸が約5cm（単3電池1本分の長さ）沈むまでしっかり体重をかけて押す
- ② 1分間に100～120回の速いテンポで絶え間なく行う

AEDの疑問解決

Q AEDは全ての心肺停止に有効ですか

A 心室細動など一部の症状に対して作動します。完全に心臓が停止している時や正常に動いている時は、電気ショックは行われません

Q 妊娠している方や0歳児にも使用できますか

A 使用できます

Q 年齢がわからない時はどうすればよいですか

A 小学生以上なのかかわからない時は、「小学生から大人モード」で使用してください

Q 資格がなくても使えますか

A 資格は何も必要ありません

3 AEDの使用

AEDは誰でも簡単に使えるように、画像や音声で操作方法や手順が案内されます

1 AEDを倒れている人の頭の近くに置く

2 ①を手前に引くとふたが開き自動的に電源が入る

3 切り替えスイッチ②がある場合は、対象者に応じたモードにする

4 電極パッド③を取り出し、絵のように右胸と胸の左下側に貼る

5 倒れている人から離れる
周りの人に離れるよう注意を促す（心電図の解析が行われる）
【オートショック式】
自動的に電気ショックを実施
【手動式】
指示に従いショックボタン④を押す
電気ショックを実施しない時は「ショック不要」などの音声流れる

6 直ちに②胸骨圧迫を開始する
救急隊に引き継ぐまで、
胸骨圧迫と電気ショックを繰り返す



手動式の場合、
ショックボタンがあります

▲オートショック AED
（さまざまな機器がありますが、
基本的な操作方は同じです）

救命講習に参加してみよう

いざという時、人命救助がすぐにできるよう、講習を受けておきましょう。

①普通救命講習Ⅰ（成人）

図 8月9日（金）午後1時30分～4時

②普通救命講習Ⅲ（小児・乳児）

図 8月19日（月）午前9時30分～正午

③普通救命講習Ⅰ 実技救命講習（成人）

図 8月19日（月）午後1時30分～3時、

31日（土）午前9時～10時30分

④普通救命講習Ⅲ 実技救命講習（小児・乳児）

図 8月9日（金）午前9時30分～11時、

31日（土）午前11時～午後0時30分

⑤応急手当普及員講習

図 10月23日（水）～25日（金）（3日間）午前9時～午後5時

①～④修了者には「修了証」、⑤修了者には「認定証」を発行。

③④は、事前に1時間の応急手当Web講習を受講する必要があります。詳しくは市公式Webサイトで確認してください。各講習開始時間を過ぎての来場は受講不可。

図 消防局（車での来場不可）

図 ①～④ AEDを使用した心肺蘇生法・異物除去法、⑤ 基礎的な知識技能や指導要領など、普通救命講習を行う指導者の育成

図 ①～④ 中学生以上で市内在住・在勤・在学の方、⑤ 市内在住・在勤で、市内事業所などで救命講習を開催し、指導を行う意欲のある方、各講習申込順18人

図 7月8日（月）から①②（⑤は受付中）午前9時～午後5時に ☎ 333-2111 救急課（音声ガイダンス2番）、③④ 右記2次元コードで申し込み



▲講習会一覧



▲③④申込フォーム



市広報番組「いちにゅー」でも AED によって救助された方のインタビューなどを配信中です。こちらでもあわせてご覧ください。



▲市公式YouTube